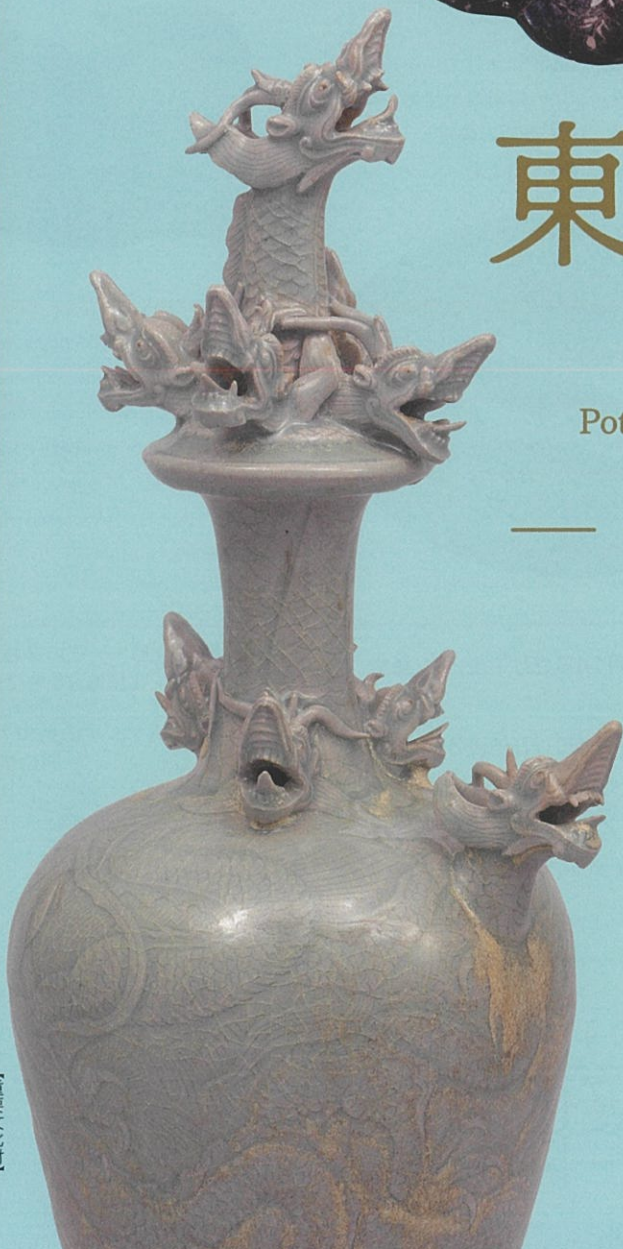




螺鈿水禽文輪花盆(部分)
中国・明時代



〔重要文化財〕沃懸地青貝金貝時絵群鹿文笛筒 日本 江戸時代



〔重要文化財〕
青磁九龍淨瓶(部分)
朝鮮・高麗時代

東アジアの動物

The Animals
of East Asia:
Pottery and Lacquer

— やきものと漆 —

2022年

7月8日(金)～

8月14日(日)

- 休館日/毎週月曜日(ただし、7月18日(祝)は開館し、翌19日(火)が休館)
- 開館時間/午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)
- 入館料/一般 630円/高校・大学生 420円/小学・中学生 無料
※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料
※「障がい者手帳」をお持ちの方とご同伴者1名2割引
- アクセス/近鉄・奈良線(学園前駅)下車徒歩約7分

大和文華館

奈良
学園前

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6 TEL (0742) 45-0544

東アジアの動物

The Animals of East Asia: Pottery and Lacquer

— やきものと漆 —



白磁蓮龍博山炉 中国・隋・唐時代

灰陶加彩駝 中国・南北朝時代



美術の中には、実に多くの動物の姿を見ることが出来ます。龍や鳳凰、魚や鹿、鳥は何のために、どのようにあらわされたのでしょうか？これらの動物には、祥瑞(良いこと、めでたいこと)のしるしとされた想像上の霊獣もいれば、長生きや子孫繁栄、富貴栄華など良い意味を付けてあらわされた動物、実在する身近な動物もいます。角や牙、鱗や翼を持ち、水中を自在に泳ぎ、空を舞う—人とは異なる姿や能力を持つ動物に対して抱く畏敬や憧憬の念は、これらの動物や創造された生きものへの信仰を生み出し、また身近な愛らしい動物は、慈しみ、愛翫する対象ともなりました。東アジアの美術にあらわされた瑞獣や動物の表現には、人と動物の様々な関係をうかがうことができます。この展覧会では、古代から近世にかけて、中国や朝鮮半島、日本など東アジアの陶磁器や漆器を中心に、美術の中にあらわされた動物の表現と、そこに込められた意味について見ていきます。



蒔絵翠鴉文硯箱 日本・江戸時代



金銅鴛鴦形水滴 日本・室町~江戸時代



螺鈿魚文鉢 朝鮮 朝鮮時代

Dragons and phoenixes were considered good omens alongside animals, such as fish, birds, deer, and horses, which were deemed to be symbols of one's descendants' prosperity and a life of abundance. Take your time to appreciate the world of lifelike animals that is expressed in the pottery and lacquerware.



清水裂(部分) 中国・明時代

特別講演 8月14日(日)午後2時・講堂 「中国古代の動物造形 — その多様性と変容」
泉屋博古館名誉館長 小南 一郎 氏

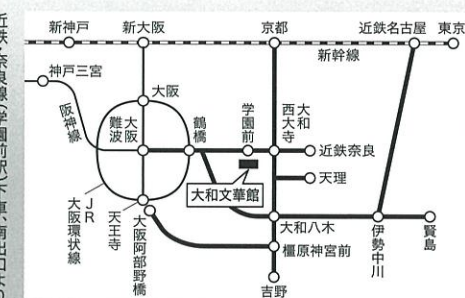
日曜美術講座 7月24日(日)午後2時・講堂 「美術の中の鳥 — 東アジアの鳥の表現 —」
当館学芸部課長 瀧 朝子

列品解説 毎週土曜日 午後2時 当館学芸部による ※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、スライドによる展覧会解説となる場合があります。

◎夏休み無料招待デー 7月27日(水)・28日(木)



近鉄・奈良線(学園前駅)下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり



大和文華館

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6
TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929

大和文華館 検索 @yamatobunkakan